

## 【準備】

### 〈フェローシップへの応募〉

- ・JCR の HP (<http://www.jcr.or.jp/index.html>)、JCR ニュース(11 月号)に応募の案内が掲載されるので、それに従って応募する。
- ・応募に必要な書類;「応募用紙(英語)」、「履歴書(英語)」、「所属長の推薦状(日本語)」
- ・JCR 事務局へメールで請求すると、「応募用紙」のフォーマットが送られてくる。
- ・「応募用紙」には顔写真(4x3)を 1 枚貼る。
- ・「応募用紙」の「Purpose of Study」欄には、自分の専門分野を含めた志望動機を書く。
- ・「応募用紙」の「Bibliography」欄には、自分の研究論文リスト(原則として応募者が第一著者のものだが、共同著者や学会発表などでも掲載可)を記入する。
- ・「英文の履歴書」作成の際は、インターネットで「CURRICULUM VITAE」で検索して医師用のものを参考にするとよい。米国内科学会(ACP)指定の履歴書記載項目と注意事項(2004 年改定) (<http://acpjc.naika.or.jp/jpnchap/rirekisho.html>)などを参考に。

### 〈合否〉

- ・2 月中旬に JCR から合否の案内がメールで来る。
- ・奨学金の振込先口座を連絡するよう指示があり、指定した銀行口座に奨学金(源泉税 5 万円を差し引かれる)が振り込まれる。

## <AFIP への登録>

・AFIP コースの人数は JCR が確保してくれるが、その他の手続き (AFIP への登録、宿・航空券の手配など) は各自で行う。

・JCR 事務局から教えてもらった HP ([www.radpath.org/program\\_directors](http://www.radpath.org/program_directors)) にアクセスして、与えられた Program ID と Password でログインする。

・参加するコースに JCR から参加する分の人数が割り当てられている (Allocated) はずなので、「Requested」の数を 1 つ増やして「Submit」する。

\*RSNA の様な細かい confirmation mail は届かないので、時々ログインして Slot allocation が「Requested」から「Allocated」になっているか確認する。

\*2008 年は当初割り当てられていなかったが、JCR から AFIP に問い合わせてもらった後に「Allocated」の数が増えて登録できるようになった。

\*申込み受付は開講の 2ヶ月前までで、夏のコースは混むのでできるだけ早めに登録する。

**SLOTS ALLOCATION**  
We have received your slots request.  
An email confirming the details of your request has been sent to your registered email address:

Course 0709 : 1 slot(s)... Pending  
Course 0909 : 0 slot(s)... Unchanged  
Course 0210 : 0 slot(s)... Unchanged  
Course 0310 : 0 slot(s)... Unchanged  
Course 0410 : 0 slot(s)... Unchanged

Please select an academic year:

**Academic year 2009-2010:**

Course	Allocated	Requested	Deadline
0709 (07/27/2009 - 08/21/2009)	0	1	05/27/2009
0909 (09/21/2009 - 10/16/2009)	0	0	07/21/2009
0210 (02/08/2010 - 03/05/2010)	0	0	12/08/2009
0310 (03/22/2010 - 04/16/2010)	0	0	01/22/2010
0410 (04/26/2010 - 05/21/2010)	0	0	02/26/2010

受付前

**SLOTS ALLOCATION**

Please select an academic year:

**Academic year 2009-2010:**

Course	Allocated	Requested	Deadline
0709 (07/27/2009 - 08/21/2009)	2	2	05/27/2009
0909 (09/21/2009 - 10/16/2009)	0	0	07/21/2009
0210 (02/08/2010 - 03/05/2010)	0	<input type="text" value="0"/>	12/08/2009
0310 (03/22/2010 - 04/16/2010)	0	<input type="text" value="0"/>	01/22/2010
0410 (04/26/2010 - 05/21/2010)	0	<input type="text" value="0"/>	02/26/2010

受付後

・その後「Registration」で自分の情報を入力して、クレジットカードにてコース代を支払う。早期の事前登録では \$ 1500 だが、遅くなると \$ 1800 になるので、早めの登録が望ましい。

・2008 年は登録後 AFIP 事務局から連絡がなかったので、下記の様な問い合わせをした所、7 月中旬に受講証明書(添付資料)が送られて来た。これは初日に施設に入る際に必ず必要な重要なものなので出国前にもらう必要あり。「I will attend the AFIP Four Week course of this summer (from July 28 to August 22 in 2008) with the aid of the Japanese college of radiology. I have already registered on the website and paid the fee. However, I don't still receive a participation certificate. Please send it to me.」

・2009 年はバグか何かで登録がうまくいかず、AFIP から JCR 事務局を通じて連絡があり、AFIP の担当者とメールでやりとりした。登録システムを修正してもらって登録し、受講料を入金した後、「I can confirm that you are registered and paid. Please scan and email me a copy of your passport and visa.」とメールが来た。パスポートのコピーを PDF にしてメールで送付したところ、6 月後半に受講証明書(へのリンク)(添付資料)がメールで届いた。ここに AFIP 施設への交通なども簡単に記載あり。この手紙は初日に施設に入る際に必要となるので印刷して持参する(なお、渡

米時の入国審査の時にこれを提示すると、入国目的の説明がスムーズになる)。また、受講期間中ネームカード(受講初日にもらえる)を忘れても、この手紙とパスポートでなんとか入れるので、パスポートと一緒に持ち歩くべき。ちなみにリンク URL の末尾が自分の student ID。さらに、7 月後半に AFIP から「Welcome Packet-0709」(添付資料)という受講上の注意や、ランチをとれる場所、敷地の見取り図、交通機関など重要情報が色々記載されているファイルが届いた(2008 年は事前ではなく、受講初日に配布された)。

・現行では、登録の手続きは参加者が各自で行うが、個人の登録が完了するまでは AFIP からの確認メールが専門医会として登録しているアドレス宛てに来るため、途中で何かトラブルがあっても参加者へ連絡が直接来ず、対応が難しい。

### <宿の手配>

・直接不動産屋をあたるか、インターネットやガイドブックでホテルやアパートメントホテルを検索する。料金はピンキリで、安全性、地理、設備等で折り合いをつける(アメリカやアジアからのレジデントは、郊外の安いアパートをシェアしたりしてやりくりしているが、安全性や利便性を考えると 30 万円前後の出費は覚悟した方がよいか)。自炊派の人はアパートメントタイプやキッチンがついたメゾネットタイプのホテルがよいかも。自炊しない派はホテルでよいか(一人用の電磁調理器なども売っている)。

・AFIP の HP (<http://www.radpath.org/>) の「Courses」→「Housing」から担当者へメールで相談することもできるが、直接の返答はあまり期待できない(実際 2009 年は返事が来なかった)。

・Silver Spring 周辺がAFIPへは近く、多くの物件があるが、治安はあまりよくないらしい。短期契約のアパートメントもあるが、ちゃんとしたところを借りると、検索した限りでは\$3000/月を越える物件が多い。また、アパートメントは7月末から借りようとする場合、空きがでるか分かるのが5月末から6月になるため、準備として後手に回ってしまう可能性あり。アパートメントではアメニティの準備も煩雑になるので、1ヶ月程度の滞在ならば、最初から覚悟を決めて長期滞在用のホテルに絞って探すのが賢明かも。

・DC の中心部からでもバスや地下鉄で十分通えるので、観光や治安のことも考えると、少々高くてもDC の中心部で探すのが便利かも。

#### <症例準備>

・教育データベースの蓄積のために、受講者は病理と画像を対比した症例を1人1例持ってくるのが義務づけられている。アメリカのレジデントの場合は、これを怠ると翌年の同施設からの参加にペナルティーが課されるため、全員必ず持ってくる。日本からの参加の場合は持って行かなくてもよいとの情報もあったが、持って行くべきであろう。

・準備方法

##### □CASE MATERIAL

1. Radiologic Images (CD-R、DICOM、ビューアなし、できれば患者IDなし)
2. Pathologic Material (病理プレパラートかブロック)
3. Gross Images (35mm slides or digital images) (CD-R)

□PAPERWORK (BRING ONE COPY OF ALL PAPERWORK)

1. Computer Sheet\*
2. Case Abstract\*
3. Gross Pathology Caption Sheet\*
4. Pathology or Autopsy Report
5. Operative Report
6. Radiology Reports
7. Discharge or Clinical Summary
8. 英語圏以外の国では、オリジナル言語(=日本語)の病理レポートおよび英語訳

・ホームページに必要書類の細かい規定や、記入フォーム(上記\*)、奨励する疾患リストあり。後出しの情報も多いので下記にできるだけ記載。

・7月中旬に、HPにもある「case preparation」(添付資料)と、追加情報の「Residents Email 1st notification」(添付資料)が届く。ここに書いてある「sharpie」とは油性ペンのこと(アメリカの商品名)。提出日にも細字の油性ペンを持って行くと便利。また提出当日にも係の先生の口頭とスライドによる説明あり。

・提出は姓のアルファベットで前半・後半に分けられ、2日目、3日目の講義のあとにチェックがある。この時に不備があると受け付けてもらえないが、丁寧に指導してくれるので、それに従って直し、翌週の月曜日午前の再受付で提出可能。

場合によっては、日本から追加情報を送ってもらう必要もあるので、同僚に「メールで情報を送ってもらうかも」と声をかけておいた方がよい。

・病理組織のプレパラートには一枚ずつ、病理標本番号を油性ペンで記入。

- ・レポートは黄色い厚紙フォルダに入れて提出。表に名前などを記入。返却不要ならDNRと書く。
- ・CDには、自分の名前、student ID、病理標本番号、DICOM/Grossの別を記入。
- ・2症例出すと翌年のシラバスがもらえるらしい。2例目は骨軟部と指定されている。2症例提出する場合は、提出物のstudent IDの後に#A、#Bと書く。
- ・提出直前に、レポートの病理標本番号を丸く囲む。
- ・日本の症例報告は、日本語のオリジナルの病理報告レポートと、その英訳を作成する。
- ・スライドグラスを配られたスライドグラスホルダーに入れて提出
- ・良い症例(珍しさではなく、病理(特にGross image)と画像の対比がしっかりとできていることを重視)は、研修の後半に数例表彰され、Best cases from the AFIPとしてRadiographicsに掲載される。

## <英会話>

- ・基本的になんとかなるが、英会話力がどの程度必要かは「どこまで必要と考えるか？」による。講義の理解度に対する満足度は人それぞれで、ミッドサマー・ウインターセミナーでの AFIP の特別講演や、総会での英語でのレクチャー等である程予測可能。苦手な分野は聞き取れないことが多いので苦労するが、事前に各分野の総説的な論文を読んでおくと、言い回しなど参考になるかも。また、内容もさることながら、Speaker によって(男性か女性か、ジョークが多いか少ないかなど)聞き取り易さがかなり異なる。日常生活に関しては、旅行英会話レベルで困ることはあまりない。しかし、トラブルが起きると英語力が要求される(インターネットがつながら

ない、アパート設備の故障など)。友達を作るという意味では、優しい人なら英語が苦手でも根気よく聞いてくれるので何とかなるが、やはり折角なので色々な国の人と話をするためにも英会話ができた方が断然よい。

#### <個人で AFIP に応募する場合>

・AFIP の HP (<http://www.radpath.org/>) で、上段の「Courses」を選択し、左横のメニューから「calendar and fees」を選択。詳しい日程と、course coordinator の連絡先が記載されているので、どのコースを申し込みたいかをメールで coordinator に伝える (coordinator は英語が苦手でも、丁寧にわかりやすい文章で答えてくれるので、臆することはない。なお、7-8 月は人気のコースなので早めに申し込むべき)。空きがあれば、申し込みに必要な情報 (Department, University, Hospital, Address, City, State, Zip, Country, Director First Name, Director Last Name, Director Degree, Director Title, Director E-mail, Director Phone, Fax, Director's Secretary name, Director's Secretary phone, Director's Secretary email) を返信するようにとの連絡がある。実際に秘書への連絡はなかったが、これを元に上司にメールで連絡が来るので、あらかじめ了承を得ておいた方がよい。その後、登録用の URL が送られてくるので、専門医会を通しての申し込みと同様に登録する。また、国籍の証明としてパスポートのコピーを送る必要あり。PDF でコピーを送ればよいが、うまく送信できない場合もあり。郵送は到着まで 10 日間程かかるため、期日には余裕を持つべき。例年大きな変化はないだろうが、HP の「proof of citizenship」や coordinator からの指示を確認する。